

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第5部門第3区分  
 【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2009-534626(P2009-534626A)  
 【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-038  
 【出願番号】特願2009-506736(P2009-506736)  
 【国際特許分類】

F 2 4 F 7/06 (2006.01)

【FI】

F 2 4 F 7/06 1 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月16日(2010.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

排気フードからの排煙を熱交換器へ流すこと；  
熱交換器を通して搬送される液体をヒートポンプの熱源として用いて液体より高い温度で熱を発生させること  
を含むことを特徴とする熱エネルギーの搬送方法。

【請求項2】

さらに、熱交換器を用いて油脂を回収することを含むことを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項3】

熱交換器が水噴霧装置を備えていることを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項4】

熱交換器が水噴霧装置であることを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項5】

さらに、ヒートポンプからの熱を飲料水に搬送することを含むことを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項6】

さらに、ヒートポンプからの熱を用いて、飲料水を予熱することを含むことを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項7】

前記熱を発生させることは、蒸発器及び凝縮器を通して冷媒を循環させることを含むことを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項8】

前記熱交換器上の油脂を捕捉すること、をさらに含むことを特徴とする請求項1記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項9】

噴霧装置で前記熱交換器を洗浄すること、をさらに含むことを特徴とする請求項8記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項10】

前記ヒートポンプを定期的に反転させて前記熱交換器上の油脂を溶かすことを含むことを特徴とする請求項 8 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項 1 1】

高い温度で発生させられた前記熱が水の予熱装置へ供給されることを特徴とする請求項 1 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項 1 2】

高い温度で発生させられた前記熱は、所定時刻において熱せられる水量が、加えられた熱量に応じて定まる瞬間湯沸し器に提供されることを特徴とする請求項 1 1 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項 1 3】

高い温度で発生させられた前記熱は、皿洗い機によって使用される水に提供されることを特徴とする請求項 1 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項 1 4】

高い温度で発生させられた前記熱は、換気空気に提供されることを特徴とする請求項 1 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【請求項 1 5】

前記換気空気は、構成空気であることを含むことを特徴とする請求項 1 4 記載の熱エネルギーの搬送方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】熱エネルギーの搬送方法